

# おもしろき こともなき世を おもしろく

vol.1



土屋 裕行

「おもしろき こともなき世を おもしろく」

高校生の時に読んだマンガ「るろうに剣心」に登場した  
幕末期の長州藩士、高杉晋作の辞世の句。

この一句が自分の運命を大きく変えました。

当時感じたのは  
「自分が動かない限り、世界はつまらないものなんだ」  
ということ。

毎日繰り返される同じような日々を退屈だと感じていたのは、  
周りの世界に期待するだけで自ら動こうとしなかったから。

そのことに気づいてから、  
偶然やってくる楽しさに期待することなく、  
自分で面白さを作る人生が始まりました。

あれから20年近くが経ち、  
多くの場所を訪れ、多くの人と出会って別れ、  
多くの思考に触れてきました。

その度に自分の価値観は揺れ、  
今もまだ回り道をしながら模索を続けています。

そうやって揺れ動く日々の中でも、  
「世界を面白くするのは自分次第」という考えは  
どんな経験をしても変わることなく  
自分の中心にあり続けています。

消費より生産を  
言葉より行動を

人も情報も足早に過ぎ去っていく時代において、  
自分の理想の生き方を追求していきたい。

自分の人生を誰かに任せるのではなく、  
自分でコントロールしていきたい。

そんな生き方を地方都市新潟で実践していきます。

世界を面白くする道のりは、まだこれから。





写真：ハヤシユウ

場所：ISANA

## 新潟×朝活

土曜日の朝にカフェに集まって雑談するというイベント。2011年1月よりスタートし、隔週開催のペースで運営しています。2015/04現在、150回、のべ1000人以上の方に参加していただいています。年齢は小学生から定年退職した方まで。職業は学生、会社員から自営業、会社役員まで。出身は北は北海道、南は九州まで。幅広い方々が集まってきています。普段集まることのない人たちが集まると、普段話すことのない話題が飛び出します。

また、朝活で会って仲良くなって後日遊びに行ったり、飲みに行ったり、時には仕事生まれたり、といった広がりも生まれています。そんな広がりを見るのが楽しくて続いています。

週末に早起きするのは大変ですが、その大変さを吹き飛ばすくらいの楽しさがある！？それ

は参加するみなさん次第です。学校・会社と家との往復から抜け出したい人、新しい友達を増やしたい人、早起きして1日を有効活用したい人、などなど、多くの方のご参加お待ちしております。

### 【開催日時】

隔週土曜の朝8時～9時半くらい

### 【場所】

スターバックス新潟紫竹山店

### 【定員】

7名

新潟×朝活のブログより参加申込できます

<http://ameblo.jp/tutinoko310/>



①



②



③

- ①初回の参加者全員で撮影
- ②ワークショップ「未来の仕事」
- ③ゲストによる自分の活動プレゼン

## green drinks Niigata

green drinksとは、世界の800都市以上で開催されているグリーンやエコ・サステナビリティ(持続可能性)をテーマにした気軽なパーティのことで、日本では100ヶ所以上で立ち上がっています。green drinks Niigata(以下gdN)は2011年末のvol.0から計6回開催してきました。(現在は活動休止中)

### 【過去の開催実績】

- vol.0 : gdNの未来を考えるワークショップ
- vol.1 : 古町まち歩き&お花見
- vol.2 : ゲストトーク「WorldShift」
- vol.3 : フリーで動く人たちのトーク
- vol.4 : ワークショップ「未来の仕事」
- vol.5 : 年末大読書会



## 人生でやりたい100のリスト

人生でやりたいことを100個書き出すワークショップ。学生時代に世界一周経験があるブロガーの青木優さんが、ブログでリストを公開しているのを見て、承認を得て真似してみました。

誰しもやりたいことを持っていると思いますが、普段はそれらが断片的に漠然と頭の中に存在しているので、とっさに思い出すことができません。やりたいことが思い浮かばないから行動を起こすこともない。そこで、やりたいことをリスト化して目に見える状態にしておけば、やりたいことが明確になり、行動のハードルが下がると思っています。

つらいことがあった時、行き詰まった時、自分の道に迷った時、自分の作ったリストに戻ってくれば、また前に進めそうな気がします。

### 【開催日時】

不定期

### 【場所】

ブルーカフェ(新潟市古町)

### 【定員】

5、6名

土屋のブログより開催状況が確認できます

<http://hiroyukitsuchiya.com/>

# 土屋のやりたい100のリスト(抜粋)

## 【働く】

- ・有料オンラインコミュニティを作る
- ・手作り結婚式をプロデュース
- ・佐渡ツアーをプロデュースする
- ・本を出す
- ・ブログにスポンサーがつく
- ・ライティングの仕事を頼まれる

## 【マイプロジェクト】

- ・マイカレンダーを作る
- ・旅人に朝活に来てもらう
- ・100人インタビュー
- ・新潟で世界一周する
- ・自分PVを作る
- ・本の旅

## 【暮らし】

- ・二拠点生活
- ・自宅を住み開き
- ・ゲストハウスを作る

## 【スポーツ】

- ・フルマラソン3時間30分
- ・佐渡トライアスロン完走
- ・運動会を主催する

## 【イベント】

- ・バンドでライブ
- ・リアルマリオカート
- ・ギネス記録を作る
- ・母校で授業

※その他のやりたいことはブログに掲載しています

## その他

### ブログ

2011年1月から、ほぼ平日1記事更新を続けています。最初は新潟×朝活を宣伝するだけでしたが、次第に自分が普段考えていることや、興味あることもテーマとして取り上げるようになってきました。

最近では、働き方・二拠点居住・教育・ポータランド・コミュニティ・ZINE(リトルプレス)などに興味があり、時々これらもテーマとして記事を書いています。ブログを更新し続けているおかげで、幅広い人とのつながりが生まれています。



個人ブログの記事。平日毎日更新中。

### Just Do(土) It.

土曜日の朝から集まって、いつもやらないタスクをやるうぜ！というイベント。横浜のコワーキングスペース「タネマキ」が元祖。

1人だとなかなか取りかかれないことを、みんなで集まって実行する時間を作るところがこのイベントの肝です。Webサイト作成、イタリア語勉強、演奏会用の楽譜作成、旅の企画、ブログ記事作成、などの作業をやりました。



各自集中して作業しています



リトルプレス”parque” 制作は野呂巧さん

## 【その1】 ZINE(リトルプレス)発行

ZINEとは自作の文章や絵、写真などを少量印刷・製本した小冊子のことです。紙の本が次々と消えていく時代にZINEを作る理由は2つ。

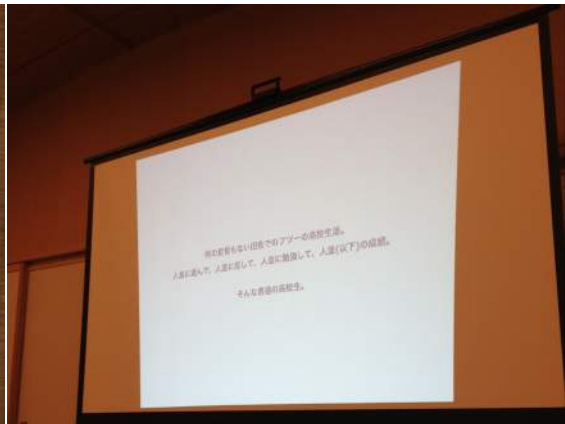
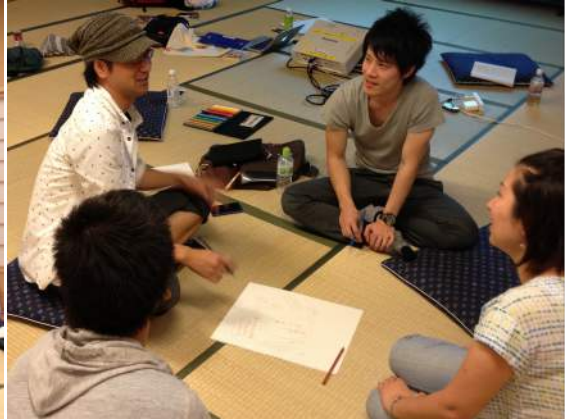
1つは情報をパッケージ化することでより伝わりやすくなるから。Webでの情報発信は双方向のやり取りができるメリットがある反面、情報が断片的で情報のまとまりを生み出しにくいと感じています。紙の本にすることで実際に情報のまとまりを手にとって感じる事ができ、バラバラにWebで発信するよりもわかりやすく伝わりやすくなるのでは、と考えています。

もう1つの理由は、ZINEはコミュニティになるから。自分が好きなこと・興味あることを見つけ、調べ、編集して、発信する、そうやって作られたZINEに興味を持ってくれる人たちは、きっと自分に近い価値観を持っている人たちで

す。まだ見ぬその人たちと雑誌を通して知り合い、互いに刺激を受けながら自分たちの理想の生き方を作っていく時、ZINEはただの雑誌からコミュニティへと変わります。

そんなコミュニティを作るため、ZINEを作ることになりました。発行ペースは3ヶ月～半年に1回を考えています。内容は特に決めていませんが、「生き方＝働き方＋暮らし方＋関わり方(人付き合い)」を軸として、自分が興味あることを取り上げていきます。





## 【その2】新潟自由大学(仮)

時代が求める様々なテーマで、自ら考え、自ら行動する姿勢を育む場所を創っている「自由大学」。自分たちが学びたいことを自由な形で講義にする、というスタイルに魅かれて、新潟でも立ち上げようとしています。

ここに集まる人には年齢や職業や社会的地位は関係ありません。共通しているのは「自分の人生を他人任せにしないこと」です。世間が用意した正解や常識を当てにせず、自分の直感を頼りにして試行錯誤を重ね、自分がいいと思う生き方を自分の手で作っていく。そのための最初の一步であり、人生を手作りするためのヒントがもらえる場にしたいと思っています。

上の写真は2013年9月に実験版として「旅学」の講義を開催した時のものです。自分の友人に協力してもらい、今まで出会った人たちに声をかけて実現しました。とても楽しく思い出

に残った一方で、どうやって継続させていけばいいのかという悩みが生まれました。単発ならいつでもできる、でもそれでは人が集まる場にはならない。そんなジレンマを解決する方法として、先ほど紹介したリトルプレスを思いつきました。自分の手で理想の生き方を作っている人たちや、次世代に適応した生き方の事例を紹介した本を作れば、自分と同じ価値観を持った人たちが集まってくる。そんな人たちが集まれば、きっと新潟自由大学のベースができるはず。そう思っています。

誰かが一方的に教えるのではなく、互いにフラットに、時に生徒に、時に先生に。自分たちで考えて、自分たちで作っていく、人生を手作りしたい人たちが集まる場を目指して。2015年中にリトルプレスを通して新潟自由大学(仮)のベースを作っていきます。

## ターニングポイント

- 1981年 新潟県佐渡市で生まれる。  
山と海と田んぼに囲まれた環境でのびのびと育つ。  
子どもの数が少ないので自然といろいろな経験をする。  
陸上、駅伝、野球、水泳、吹奏楽、生徒会、鬼太鼓など、  
運動系も文化系もまんべんなく経験。  
未知なるものに飛び込んでいける好奇心の土台を作る。
- 2000年 新潟大学への進学を機に、新潟県新潟市に引っ越し。  
理学部地学専攻で、週末は山へ行き地層を観察する日々。  
学生寮に入り、野球サークルに属しながら家庭教師のバイトをする。  
偶然大学で見たホノルルマラソンのポスターに感化され、  
1人で参加して無事完走。この時が初めての海外旅行。以降、旅好きに。
- 2003年 友人の影響でギターを始める。大学の食堂前で歌い始める。  
調子に乗って新潟駅前路上ライブをするようになる。  
学科の同級生と組んだユニットは「つちのこ」。  
19やゆずの影響を受けまくってひたすらコピー。
- 2004年 大学卒業後、そのまま新潟市のIT企業に就職。  
就職後も毎週金曜夜に新潟駅前歌う活動を続ける。  
時々ライブハウスでも歌うようになる。  
また、従兄弟に誘ってもらってアカペラグループにも所属。  
平日は仕事、週末は音楽という日々を送る。
- 2008年 結婚と同時にリーマンショック。  
会社の業績悪化に伴い人生を真剣に考え始める。
- 2009年 1冊の本との出会いから自分がやりたいことを探し始める。  
しかし、1年以上探し続けても見つからず心身ともに疲弊。
- 2011年 「人と話すことで自分のやりたいことが見つかる」という考えに至り、  
新しい人と話すことができる「新潟×朝活」を立ち上げる。  
同時期に日々の考えを綴ったブログを始める。
- 2013年 子どもが生まれたことを機に、会社の勤務形態を短時間勤務に移行。  
仕事・育児・個人活動のバランスを試行錯誤。
- 2015年 リトルプレスと自主イベントを通して、  
自分の人生を自分で作る人たちが集うコミュニティ作りを始める。

## プロフィール

### おもしろき こともなき世を おもしろく



1981年生まれ。新潟県佐渡市出身。新潟県阿賀野市在住。新潟県立佐渡高校卒。新潟大学理学部卒。2004年よりIT系会社員。企業の基幹システム(財務会計・人事給与・生産管理)の設計・製造に携わる。2011年より「新潟×朝活」を運営。ジャンルを問わず話ができて、仕事以外の友人ができる場として新潟に定着する。他にも職業・年齢にかかわらず新しい交流を生み出すイベントを多数主催。その経験を基に学校の授業や県庁・市役所向け勉強会で講演を行う。2015年にリトルプレスを創刊予定。ブログで発信を続ける「生き方 = 働き方 + 暮らし方 + 関わり方」を軸に、様々な生き方を紹介する。自分の人生を自分の手で作り、面白くしていく人たちが集まるコミュニティ作りを進める。

**生き方 = 働き方 + 暮らし方 + 関わり方**

#### ネットツール紹介

ブログ「土屋裕行.com」 <http://hiroyukitsuchiya.com/>

Twitter「@tutinoko310」 <http://twitter.com/tutinoko310>

Facebook「土屋裕行.com」 <http://www.facebook.com/hiroyukitsuchiya.com>

#### お願い

- この冊子は多くの方に見ていただきたいので、手元に置いておかなくていいという方は、興味ありそうな方に渡していただけると嬉しいです。
- 興味ある活動がありましたらお気軽にご連絡ください。Facebook、Twitterの他、ブログに設置してあるメールフォームからメールも送れます。
- 「この人面白いから取材してほしい」「こんなイベントを開催してほしい」というリクエストも随時募集中です。
- ブログで「人生でやりたい100のリスト」を公開しています。一緒にやりたいことがありましたらぜひお声がけください。

おもしろき  
こともなき世を  
おもしろく

vol.1

発行日 2015年5月15日

文/写真/編集/デザイン 土屋 裕行